

ハンディキャップ委員会活動へのご協力のお礼とお願い

2015年9月吉日

障がいを持つ方々のスキーをはじめとするウィンタースポーツを支援してゆく目的のために発足したハンディキャップ（以下HC）委員会は16年目を迎えます。昨年度もこれまで同様、数多くのボランティアの方々をはじめ、関係組織の方々のご協力をいただき活動することが出来ました。昨シーズンのHC委員会の取り組みとして、①HCセミナーⅠ、Ⅱ ②スキー教室（五竜・1月）③スキー教室（車山・3月）（②③の2行事はスポーツ振興くじ（toto）助成事業）④鹿沢チャレンジカップスキー大会（4月）の4行事を行いました。

支援活動をより良くするために開催した10月のHCセミナーⅠでは「知的障がい・下肢障がいを持つ方へのサポート」のための基本的な障がいの理解（座学）と介助ベルト・ロープワーク・立位使用のアウトリガー等を用いて疑似体験を通し必要なサポートといった用具の理解と使用法を学び、1月のHCセミナーⅡでは実際に雪上で介助ベルト・ロープ・アウトリガー・スキーブランケット等を着用して使用法、サポート・指導法を学びました。

1月の五竜スキー教室では総勢47名、3月の車山スキー教室では総勢106名の参加があり、両行事ともセミナー参加者も加わって無事終わることが出来ました。4月のチャレンジカップには2日間（GS、SL）延べ8名の参加があり無事終了することが出来ました。皆さまのご協力にあらためて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

HC委員会では、スキーをはじめとするウィンタースポーツをより楽しみたいと望んでいる障がいを持つ方々と共に、更に充実させていきたいと思っております。これまでの実践で得られた貴重な経験を踏まえ、今年度も疑似体験を通して、委員はもちろんボランティアの方々、障がいについて理解を深めよりよい支援活動ができる様に、「HCセミナーⅠ・Ⅱ（座学・雪上でのサポート指導実践）」を開催いたします。1月の五竜スキー教室の前日にセミナーⅡを実施します。また3月の車山スキー教室では参加者の方々が参加しやすいように往復バスを利用し、ボランティアの方々のご協力のもと、宿泊地、バスでの生活サポートも含めた取り組みを行ってゆきます。4月のチャレンジカップスキー大会のサポートも力を注いでゆきたいと考えております。これらの事業を実施するにあたっては、参加者の実費負担を原則とはいたしますが、セミナーや行事運営、委員会諸活動、ボランティアへの謝礼その他に多くの資金が必要となってまいります。今年度（27年度）もスポーツ振興くじ（toto）助成金の交付申請が認められましたので、充実した内容で運営が出来るものと考えております。ハンディキャップ事業への寄付は行事運営費として使用させていただきます。よろしくお願いいたします。

今年度もHCセミナーへのご参加、ボランティア登録及びスキー教室のボランティア参加もあわせてよろしくお願いいたします。

なお指導員、準指導員の方々は、研修会・クリニックと併設で行われるHC行事へのボランティアとしてのご協力は研修会、クリニック参加として認められますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

公益財団法人神奈川県スキー連盟
総務本部ハンディキャップ委員会